



2-(1)

ヒヤリハット事例集  
一般事務職場編



## 2 ヒヤリハット事例集

### (1) 一般事務職場編

各団体から寄せられた事例（内容、原因、対策）をご紹介します。なお、アドバイスは、「業種別ヒヤリハット事例集作成研究会」で付記したものですので、参考にしてください。

#### 事例

1



#### 《団体から寄せられた事例》

##### 内容

事務室内の打合せテーブルとロッカーの間を通ろうとしたところ、通路脇に置いてあったコピー用紙の分別箱に足をひっかけて転倒した。

##### 原因

通路脇に障害物があり、コピー機の陰になって気づきにくかった。

##### 対策

事務室の危険箇所を点検し、通路の整理や障害物の除去を行うとともに、整理整頓を実施した。

#### 《研究会からのアドバイス》

通路の整理整頓等、類似の災害要因対策まで対象範囲を拡大しているのは大変良いことです。

#### 事例

2



#### 《団体から寄せられた事例》

##### 内容

歩行中にLANケーブルに足をとられ転びそうになった。

##### 対策

- ・ケーブルを床下に潜らせる。
- ・モールを設置する。
- ・無線LANにする。

#### 《研究会からのアドバイス》

モールにもさまざまな型があります。職場のレイアウトに応じて、なるべく通路を横断せず、つまづかないよう工夫が必要です。

## 事例

3



## 《団体から寄せられた事例》

**内容**  
コピー機のトレイにぶつかった。

**原因**  
通路にはみ出しているため。

**対策**  
移動した。

## 《研究会からのアドバイス》

通路は80cmの幅を確保しましょう。  
通路を人が通る際に、人間の体が50cm、手に物を持った時が15cmとして両手で30cm、合計80cmは必要となります。特に通路に面した部分は余裕を持たせましょう。

## 事例

4



## 《団体から寄せられた事例》

**内容**  
床から電源コンセントが突出しており、つまずいた。

**原因**  
通路にあるため、つまずきやすい。

**対策**  
移設または恒久的なカバーを設置した。

## 《研究会からのアドバイス》

特に平均年齢が高い職場を優先的にチェックし、埋め込み型への変更や、移設等の恒久対策を検討しましょう。



## 事例

5



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

会議の準備で、机と椅子を並べている時に、机と椅子が崩れ足もとに落ちた。

## 原因

単独で作業を行っていた。さらに作業に不適当な履物（サンダル）を履いていた。

## 対策

作業全体の安全管理を行う人を置くか、もしくは複数で作業にあたる。  
また、けがを防げるような作業スタイルとする。

## 《研究会からのアドバイス》

机と椅子がなぜ落ちたのか？この要因分析を行い、これらの並び替え等の作業における禁止事項や遵守事項を明確にしましょう。

## 事例

6



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

戸棚の上の箱を取ろうと、キャスター付きの椅子に上った時に、キャスターが動いて椅子から落ちそうになった。

## 対策

戸棚等の上に荷物を置かない。不安定な物に上がらない。

## 《研究会からのアドバイス》

作業する高さにあった安定した脚立を利用しましょう。ただし、脚立の天板（最上部）に上がっての作業は、不安定になるため絶対にやめましょう。

## 事例

7



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

書棚上段にある書類綴りを取ろうとした時に、綴りの上に横に積んであった他の書類綴りが落下した。

## 対策

書類綴りの上に他の書類綴りを増積しない。増積する場合は視野が届くようにする。

## 《研究会からのアドバイス》

増積しないことはもちろんですが、書類の整理を定期的に行い、業務効率のためにも背表紙を付け、どこに何が置いてあるかひと目で分かるようにし、崩れ落ちないように縦置きしましょう。

## 事例

8



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

プリンターに詰まった用紙を取り除くため、可動式の椅子の上に乗って作業していたら、椅子が動きだし落ちそうになった。

## 対策

固定椅子を使用する。プリンターを高い位置に置かないこととした。

## 《研究会からのアドバイス》

プリンターなどのOA機器は通常作業だけでなく、トラブル処置作業も考慮し、最適な置き場所を検討しましょう。



## 事例

9



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

倉庫から重たい荷物を出し、持ったまま階段を下りたらバランスを崩し階段から落ちそうになった。

## 対策

重たい荷物を運ぶ際は、複数人で協力して運ぶ。

## 《研究会からのアドバイス》

重量物を運ぶ場合、足元が見にくく段差につまずく、バランスを崩し転落、人や物との衝突など多くの危険性を含んでいます。また、腰などに負担をかけることにもなります。なるべく台車等を利用し、複数人で作業しましょう。

## 事例

10



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

天井の蛍光灯を交換する際、脚立が不安定になり、脚立のステップを踏み外し落ちそうになった。

## 対策

補助者を置いて作業を行う。

## 《研究会からのアドバイス》

脚立がなぜ不安定になったのか？ステップを踏み外しそうになったのはどういう行動の時か？など要因を掘り下げ、その場所ごとの足場確保を検討しましょう。

## 事例

11



《団体から寄せられた事例》

## 内容

ロッカーの上に備品類があり、地震などの際に落ちそうになる。

## 原因

収納場所が少ないため。

## 対策

不用品を処分し、ロッカー内を整理する。

## 《研究会からのアドバイス》

必要なものと不必要なものを分別し、不必要なものは捨てます。整理・整頓運動を心掛けましょう。

## 事例

12



《団体から寄せられた事例》

## 内容

書類を取りにキャビネットに行った時に、荷物の整理がされていなかったため、足場がとれずつまずいた。

## 原因

通路にはみ出しているため。

## 対策

荷物の整理を行った。

## 《研究会からのアドバイス》

要・不要を分別し、不要なものを処分します。そして残った必要なものの置き方を工夫し、ルール化しその遵守徹底を図りましょう。また、通路は80cmの幅を確保しましょう。



## 事例

13



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

入退出にあたり、ドアを開けた際に反対側にいる人にぶつかりそうになった。

## 原因

反対側の様子がわからない。

## 対策

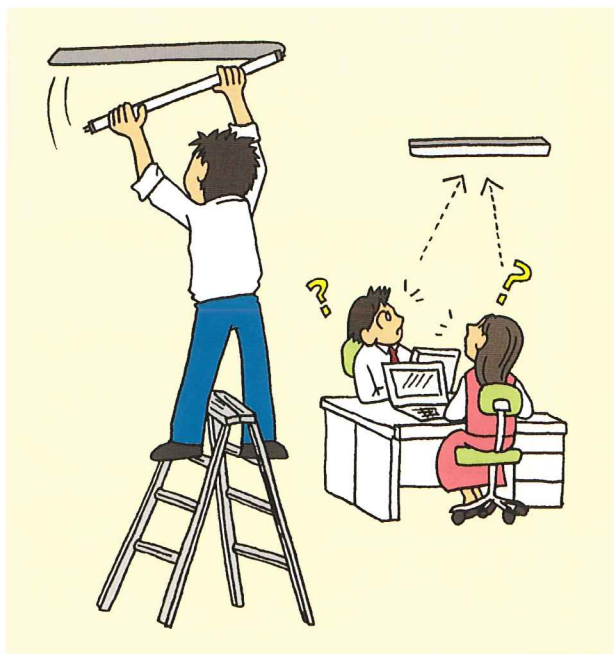
扉に小窓をつけた。

## 《研究会からのアドバイス》

扉に小窓を付け、反対側の様子が分かる対策を実施されています。良い対策ですが、それが出来ない時は、次善の策として、扉の引き手側に注意書きを目線の高さに取り付けましょう。また、引き手側の立ち位置にも注意しましょう。

## 事例

14



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

事務室の蛍光灯が切れたため、交換しようとしたところ、プレーカーが落ち共通回路の照明がすべて消えた。

## 原因

照明の電源スイッチを切らずに蛍光灯を交換したため、漏電しプレーカーが落ちた。

## 対策

蛍光灯の交換や清掃時には、漏電によりプレーカーが落ちたり、感電する恐れがあることから、必ず電源スイッチを切り、さらに火傷しないよう蛍光灯が冷めてから行うよう徹底した。

## 《研究会からのアドバイス》

照明の電源系統によっては、電源を切らずに蛍光灯交換をする場合があります。蛍光灯取り換え作業で漏電するのは極めて稀であり、何故漏電したのか？この掘り下げと滑り止め付きの軍手等保護具の着用等も検討しましょう。



## 事例

15



《団体から寄せられた事例》

## 内容

階段を下りた人と廊下の歩行者、廊下側の歩行者とトイレから出てきた人が出会い頭にぶつかりそうになった。

## 原因

壁等がブラインドになって目視できない。

## 対策

カーブミラーを設置し、廊下にセンターラインまたは停止線を設けた。

## 《研究会からのアドバイス》

良い対策です。工夫を盛り込みながら見えない部分の“見える化”対策を推進しましょう。

## 事例

16



《団体から寄せられた事例》

## 内容

階段を上っていたところ、靴の先が階段の滑り止めの微妙に飛び出した部分に引っかかりつまずいた。

## 原因

滑り止めが段からはみ出し、はがれて浮き上がっていたため。

## 対策

ぴったりと貼り付け、又は新たなものに交換した。

## 《研究会からのアドバイス》

特に階段の折り返し部分にある滑り止めは、はがれやすいので注意が必要です。

## 事例

17



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

雨天になると廊下が滑りやすく転びそうになる。

## 対策

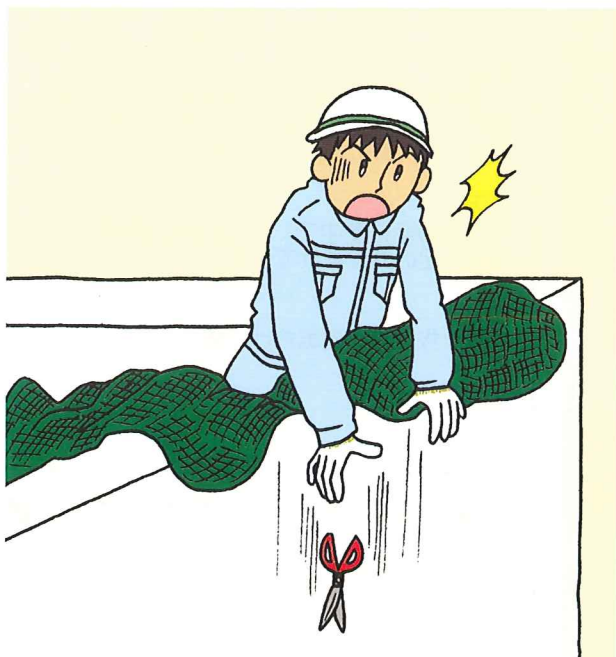
傘袋の設置及びマットを敷いた。

## 《研究会からのアドバイス》

濡れている廊下や階段は非常に危険です。濡れないように傘袋の設置やマットの敷設は有効ですが、濡れている場合はこまめな拭き取りも必要でしょう。

## 事例

18



## 《団体から寄せられた事例》

## 内容

高所作業で防鳥ネットを張替え中に、手が滑り作業工具が下に落下した。

## 原因

落下防止対策がなされていなかった。

## 対策

作業工具に紐を結び、安全帯等に縛りつけて、工具が手から離れても落下を防止する対策をとった。

## 《研究会からのアドバイス》

高所作業で工具や部品などを落下させる事故は過去多く発生しています。高所作業中の表示や立入禁止措置等の対策なども検討しましょう。



## 事例

19



《団体から寄せられた事例》

**内容**  
草刈り作業中に小石が飛散し、顔に飛んできた。

**原因**  
草の中の状況を確認していなかった。

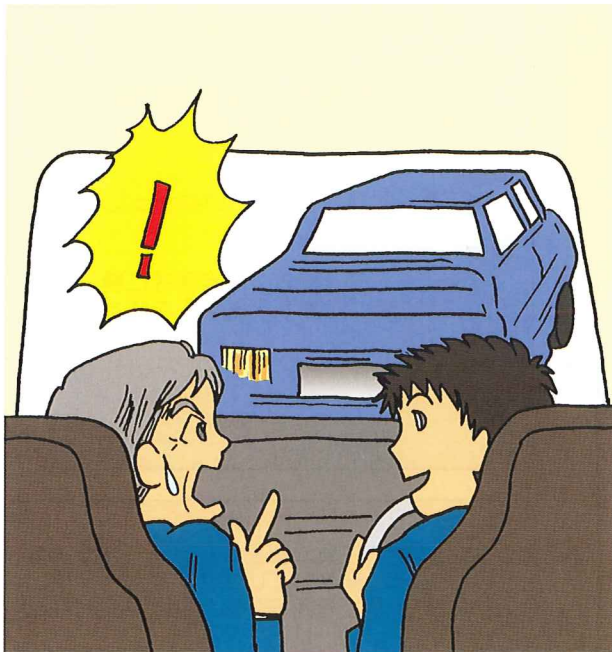
**対策**  
保護めがねを着用する。

## 《研究会からのアドバイス》

屋外作業では、本事例以外にも毛虫などによる皮膚炎、蜂刺症、熱中症なども考えられます。作業時の服装などにも十分気を付けて作業を行いましょう。

## 事例

20



《団体から寄せられた事例》

**内容**  
公用車で出張中に、信号待ちでブレーキを踏んで止まっていたはずが、車がそろそろ動き、前の車にぶつかる寸前だった。

**原因**  
仕事の話に夢中で、いつの間にかブレーキを踏む足の力が抜けていた。

**対策**  
気を抜かず、運転だけに集中する。

## 《研究会からのアドバイス》

一時停車でのサイドブレーキの習慣化を促進しましょう。